

# 介護現場の介護・看護・医療職のスキルアップ研修会 生活リハビリ講座

「生活リハビリ講座 2010」は、介護現場のみならず、日本社会全体の課題となっている老いと認知症をどうとらえ、どう関わるのかをテーマに構成しました。

後半は、この間現場で大きな反響と支援をいただいている3日間のプログラムです。

現場からの多数の参加をお待ちしています。また、施設連盟、グループホーム連絡会、ケアマネジャー協議会など、組織・団体の研修としての団体の参加も申し受けています。

生活とりハビリ研究所 代表 三好春樹

## 後半④ 認知症老人のケア I

### 介護の立場からの見方と分類、アプローチ法

講師：三好春樹

「医学の枠ではなく人間学的立場からの新しい見方と生活の場の3分類に基づく新しいアプローチ法。長谷川式スケールのケアへの活用法の演習もあります。

- 痴呆（認知症）老人の個性を知るためのアセスメント
- 痴呆（認知症）老人のタイプを知るためのアセスメント
- 生活の場の3分類とタイプ別アプローチ

テキスト：「痴呆論」「新しい痴呆ケア」

## 後半⑤ 認知症老人のケア II

### 問題行動のアセスメントと対応法

講師：三好春樹

問題行動の原因は脳細胞にあるのではない。介護職が毎日関わっている生活の中にあるのです。それを探すとともに、異食、弄便、盗られ妄想などあらゆる問題行動への対応法を提案します。

- 問題行動の原因を生活の中に探す
- 被害妄想、異食、弄便など“人間崩壊”などと言われてきた問題行動が無くなる

テキスト：「痴呆論」「ウンコ、シッコの介護学」

## 後半⑥ 認知症老人のケア III

### 認知症ケアの七原則

講師：三好春樹

ほけさせない、進行させないために、33年間の現場体験と人間理解の深みから提案する7つの原則です。してはいけないことから、より積極的なケアまで。

- 「環境を変えない」から始まり、「一人一人の関係づくり」に至る、具体的な生活づくり、人間関係づくりの七原則

テキスト：「痴呆論」「関係障害論」